

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【ザレカ難民キャンプ】ジャンボ、ハバリ？アサンテ。普段マラウイでは話される事のないスワヒリ語がここでは飛び交います。私の任地であるドーワの中心部から約10キロの場所に、ザレカという難民キャンプがあります。ザレカではルワンダ・ソマリアの5カ国から難民を受け入れており、約2万5千人以上の難民が生活しています。難民キャンプと言えどどのような光景が思い浮かびますか。もちろん戦争、内乱、自然災害等の災難から避ける為に母国の国境を越えて難民達が集まる為の国境ですが、ここザレカを訪れて私の印象は一変しました。街並みもマラウイの一般的な町と変わらず、それどころか小さな町より発展しているくらいです。ここに住む人の身なりも他のマラウイ人より良い服装をしているようにさえ見え、町には活気があります。



このザレカに通っているうちに、この活気ある町に付随した様々な特徴が見えてきて、興味をそそりました。まず一つ目要因は海外からの支援が大きい事です。規模も歴史もあるこのザレカには各国の先進国から多くの支援を受けています。病院・小学校・中学校・通信大学などの公共施設が設立されており難民者は無料で十分な医療や教育を受けられる事が可能です（マラウイ人もザレカ内の学校に通えますが有料）なる要因は人種です。様々な人種が混在するキャンプ内では、商売やお金を稼ぐ方法も様々です。独自の国の料理を提供する店や、畜農業、織物、小物、卸売り業などが充実しており、この町だけで完結してしまう事も可能です。また、近隣のマラウイ人もこのザレカで買い物や飲食を行いお金を落とす事が最近のマイブームで、日々多くの異文化に触れることが出来ます。顔も言語も習慣も異なる国の人が集まるザレカ。ここもまた一つのマラウイ。



【サツマイモ】農村地帯であるここドーワでの主要作物の一つとして多くのサツマイモが市場に並べられています。マラウイ人の主食の一つとしても料理に使われており、身近な食材です。私達日本人にとってサツマイモはおやつとして食べたり、お菓子に使用したりといったイメージがありますが、ここマラウイではその様なスイーツとして使われる事はありません。私も、お昼ご飯として蒸かしたサツマイモを頻繁に食べています。調理が簡単で且、腹持ちも良く美味しい。私の生活においても欠かせない食材となっています。



陳列される市場のサツマイモ
パウラーでいきなり団子

【後記】早いもので、とは素直に言えず、やっと一年が経ちました。現地語であるチェワ語が殆ど話せない事で全てのマラウイ人と会話が出来ない事が凄く心に引っかかっており、残りの一年はもう少し現地語を話せるように努力したいと思えます。私生活では、「住めば都」という言葉があります。初めはこんな家での生活は嫌だ。もつといい家を探したい。と、文句を言いたかったのですが今ではこの家が好きで、首都から帰るとホッとしている自分が居ます。食事も限られた食材で上手く作れるようになり、特に不自由に感じる事は無くなってきました。活動においては先日、英語で行うジャイカでの中間報告、マラウイ大使公邸での報告、両方を終え、改めて一年間の自分を振り返りました。自分に何が出来るのか、全力で取り組んでいるのか、もしかしたら役に立って無いです。色々な感情が交錯した一年でしたが、なんとか自分の中での感情をコントロールする事が出来き、次なる二年目はやりたいたい事も更に具体的になつてきました。しっかりと計画的に目標を定め、残り一年も悔いのない様に積極的に取り組みたいと思えます。